

フェオダクチラムの濃縮と長期保存後の増殖について

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 小林, 真人
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014396

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



フェオダクチラムの濃縮と長期保存後の増殖について

小林真人

大型遠心分離機によってフェオダクチラムを濃縮し、保存用の株としての実用の可能性について試験を行った。その結果、デスラッジ式濃縮機では高濃度濃縮が可能であるが、細胞の破損が多く、濃縮直後でも増殖しないことから、実用は困難であると判定した。これに対し、ノズルセパレーター式濃縮機では濃縮を数回繰り返すことにより、3.42 億セル/ml と高濃度化が可能であり、保存後 104 日目でも再び増殖が認められたことから、この方法は充分実用化できると考えられる。

栽培技研, 21(2), 63-69 (1993)